

エマージング社債オープン（毎月決算型） 為替ヘッジなし

追加型投信／海外／債券

第69期末（2018年8月27日）	
基準価額	13,044円
純資産総額	155百万円
第64期～第69期	
騰落率 (上昇率・下落率)	+1.1%
分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第64期（決算日：2018年3月26日）
第65期（決算日：2018年4月26日）
第66期（決算日：2018年5月28日）
第67期（決算日：2018年6月26日）
第68期（決算日：2018年7月26日）
第69期（決算日：2018年8月27日）

作成対象期間
(2018年2月27日～2018年8月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、エマージング・カントリー（新興国）の企業が発行する米ドル建の社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

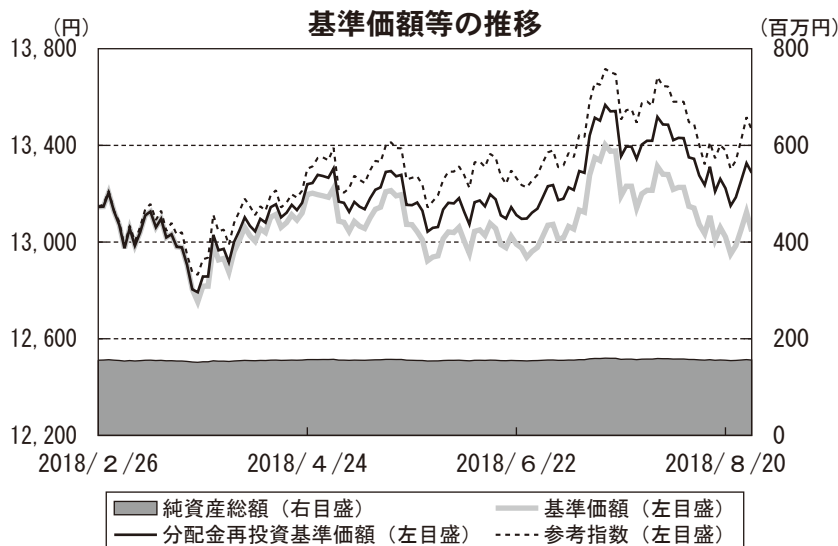
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第64期～第69期：2018/2/27～2018/8/27）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	米ドルが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	エマージング社債市場が下落したことや、保有しているアルゼンチンの社債が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2018年2月27日～2018年8月27日）

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第64期～第69期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	75円	0.571%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× （作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(30)	(0.232)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(42)	(0.323)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷ 作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	76	0.582	
作成期中の平均基準価額は、13,080円です。			

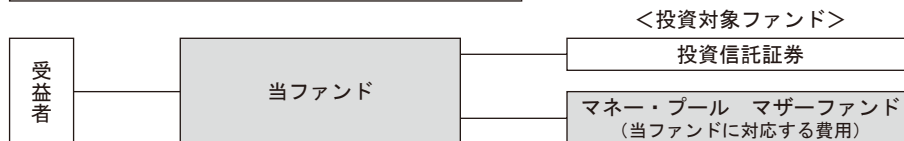
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【費用開示の仕組み】

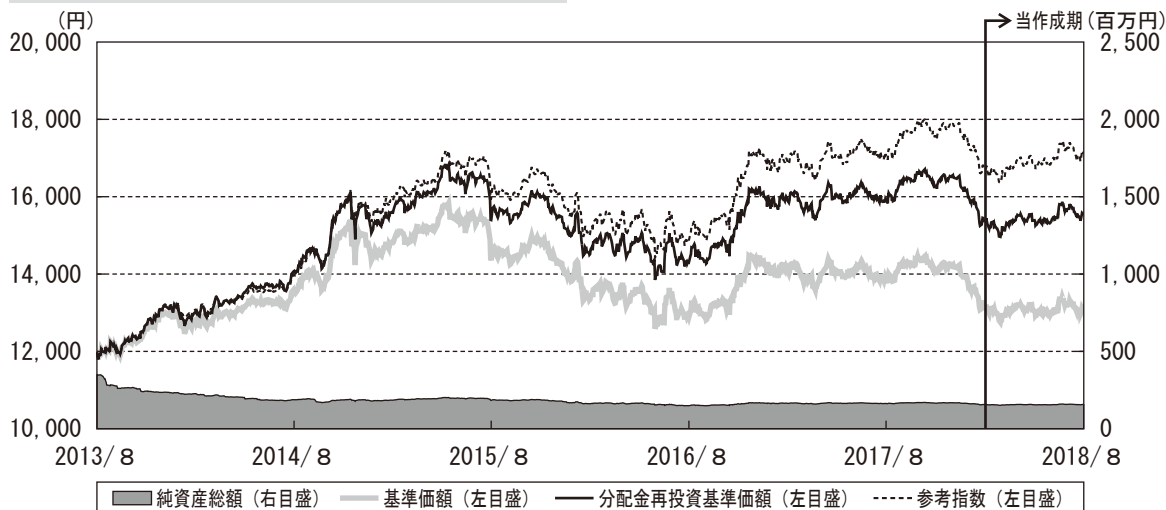
下記 部分の費用が費用明細に含まれています。



! 当ファンドの費用に関する情報を後記「<ご参考>当ファンドに関わる費用について」に記載していますので、ご確認ください。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年8月26日～2018年8月27日）



- ・分配金再投資基準価額、参考指数は、2013年8月26日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/8/26 期初	2014/8/26 決算日	2015/8/26 決算日	2016/8/26 決算日	2017/8/28 決算日	2018/8/27 決算日
基準価額（円）	11,974	13,537	14,358	12,888	13,808	13,044
期間分配金合計（税込み）（円）	—	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率	—	17.4%	9.6%	-7.1%	10.9%	-2.1%
参考指数騰落率	—	16.6%	14.2%	-6.8%	14.3%	0.8%
純資産総額（百万円）	351	187	183	148	162	155

- ・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、J.P. Morgan CEMBI Broad Diversified（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

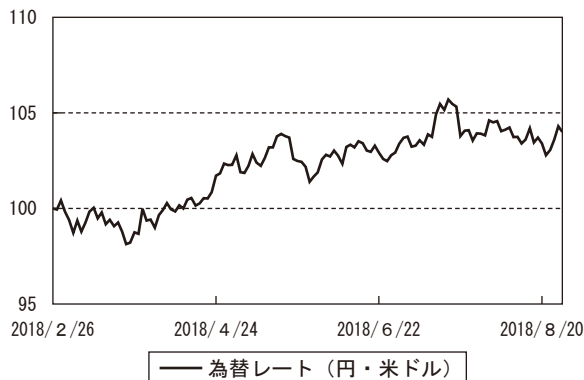
投資環境について

（第64期～第69期：2018/2/27～2018/8/27）

◎債券市況

- ・エマージング社債市場は、米国で利上げが実施され、新興国からの資金流出懸念が高まったことや、トルコやアルゼンチンの社債市場の下落を受け、下落しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・為替市況については、米国の一部の経済指標が堅調な結果となったことや、米国で利上げが実施されたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。当作成期首から2018年6月中旬にかけて短期国債の需給緩和から上昇したものの、その後需給の引き締まりなどから低下し、足下はマイナス0.16%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

＜エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし＞

- ・ 当作成期を通じて、米ドル建の外国投資信託であるエマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド 受益証券にも投資を行いました。
- ・ 外貨建資産について、対円で為替ヘッジを行いませんでした。
- ・ その結果、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与しました。

＜エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）＞

- ・ 主として新興国の企業が発行する米ドル建の社債に投資を行いました。
- ・ ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチに加え、新興国のマクロ経済状況などのトップダウンの分析も活用して投資国選択および社債の銘柄選択を行いました。

◎国別配分およびセクター別配分

- ・ 国別配分では、ブラジルやアルゼンチンなどをベンチマーク対比オーバーウェイトとする一方、ペルーなどはアンダーウェイトとしました。
- ・ セクター別配分では、新興国の国内における経済活動の活発化の恩恵を受けると考えられる、情報・通信セクターなどをベンチマーク対比オーバーウェイトとする一方、金融セクターや石油・ガスセクターなどをアンダーウェイトとしました。
- ・ 当作成期は、アルゼンチンのオーバーウェイトなどがマイナスに影響し、ポートフォリオの超過リターンはベンチマーク対比マイナスとなりました。

※エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）のベンチマークは、J.P. Morgan CEMBI Broad Diversified です。

(ご参考)
格付別組入比率

格付け	比率
A A A	—
A A	2.6%
A	10.0%
B B B	48.7%
B B	28.3%
B	8.3%
C C C以下	—
短期金融商品等	2.1%
合計	100.0%

(現地2018年7月末現在)
社債セクター別組入比率

セクター	比率
金融	26.3%
情報・通信	19.3%
公益	15.1%
石油・ガス	7.9%
消費関連	7.1%
産業	6.8%
金属・鉱業	4.2%
不動産	3.6%
インフラ	2.9%
多角化企業	2.8%
輸送	1.8%
社債合計	97.9%

- ・比率はエマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）の純資産総額に対する割合です。
- ・セクターは、原則としてJ.P. Morganのセクター分類に準じて表示しておりますが、一部ティー・ロウ・プライスの判断に基づく分類を採用しています。
- ・格付けはS&P社、Moody's社、Fitch社のうち高いものをS&P社の表示方法をもって表記しています。ただし、S&P社、Moody's社、Fitch社のいずれも無格付けの場合には、ティー・ロウ・プライスが判断した格付けを用いています。（格付けのデータ出所：Bloomberg、ティー・ロウ・プライス）
- ・四捨五入の影響により、各数値の合算と合計の数値が異なることがあります。また、各数値の合計が100%にならないことがあります。

<マネー・プール マザーファンド>

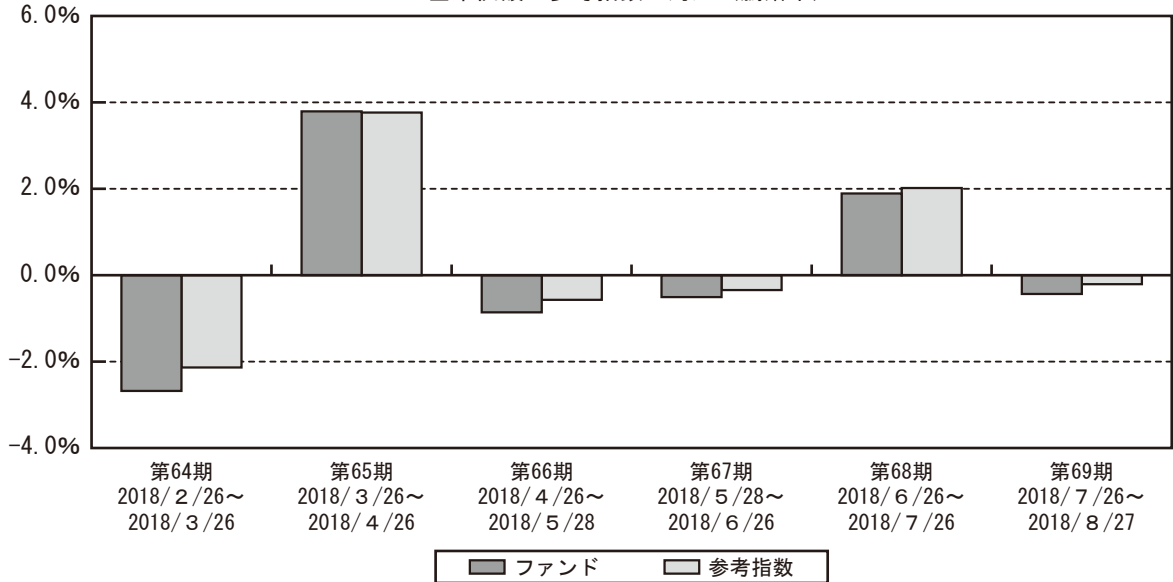
基準価額は当作成期首に比べ0.01%の下落となりました。

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は当作成期首と比べて下落となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第64期～第69期：2018/2/27～2018/8/27）

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、J.P. Morgan CEMBI Broad Diversified（円換算）です。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
	2018年2月27日～ 2018年3月26日	2018年3月27日～ 2018年4月26日	2018年4月27日～ 2018年5月28日	2018年5月29日～ 2018年6月26日	2018年6月27日～ 2018年7月26日	2018年7月27日～ 2018年8月27日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.313%	0.302%	0.306%	0.308%	0.303%	0.306%
当期の収益	34	40	40	40	40	40
当期の収益以外	5	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	5,838	5,853	5,854	5,904	5,920	5,955

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、米ドル建の外国投資信託であるエマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

<エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）>

◎運用環境の見通し

- ・新興国における中間所得層の増加や、相対的に利回りが高いエマージング社債に対する需要増加、新興国企業の信用力拡大への期待などを背景に、エマージング社債市場の長期的な見通しはポジティブであるとみています。ただし足下では、米国の貿易政策の動向などに注意が必要です。
- ・財政規律の強化や健全な経常収支、成長期待の高まりや構造改革などを背景にエマージング諸国のファンダメンタルズは改善傾向にあるとみています。また、国際商品価格の安定化や債務の返済期間の延長などに伴い、今後新興国企業のデフォルト率が低下する可能性があるかとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として新興国の企業が発行する米ドル建の社債に投資を行います。また、ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチに加え、新興国のマクロ経済状況などのトップダウンの分析も活用して投資国選択および社債の銘柄選択を行います。
- ・セクター別の観点では、新興国の国内における経済活動の活発化の恩恵を受けると考えられる、情報・通信セクターなどに魅力的な企業が多いとみています。一方で、原油価格の中長期的見通しに不透明感があることなどから石油・ガスセクターについては慎重な見通しを維持します。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

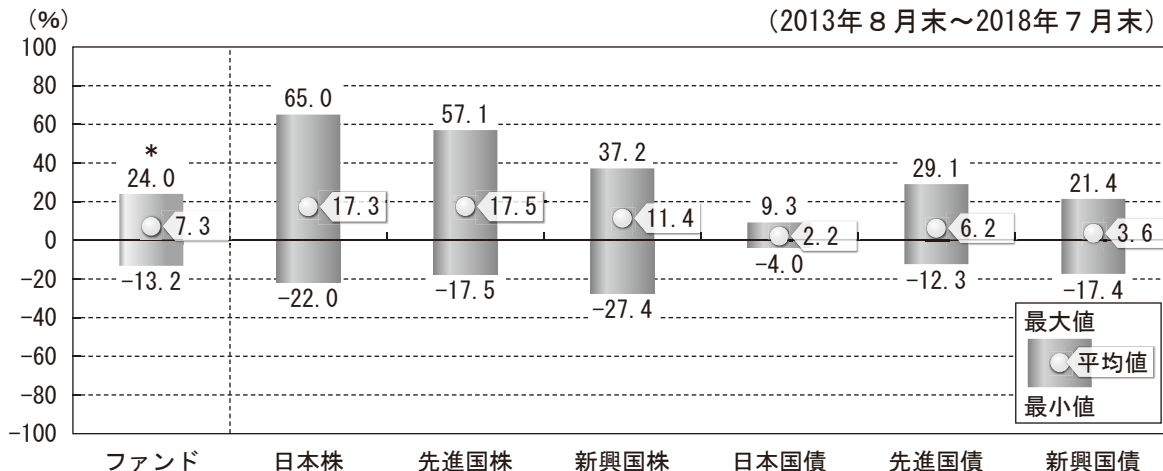
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年8月26日まで（2012年9月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド（USD）	主として新興国の企業が発行する米ドル建の社債 なお、一部、新興国の企業が発行する現地通貨建の社債、米ドル建および現地通貨建の新興国の国債にも投資する場合があります。
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・エマージング・カントリー（新興国）の企業が発行する米ドル建の社債を主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2013年8月末～2018年7月末)



○上記は、2013年8月から2018年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

* ファンドについては2013年9月～2018年7月の同様の騰落率を表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株 : TOPIX (配当込み)

先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

日本国債 : NOMURA-BPI (国債)

先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)

新興国債 : JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年8月27日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名		第69期末 2018年8月27日
<input checked="" type="checkbox"/>	エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD)	98.5%
<input checked="" type="checkbox"/>	マネー・プール マザーファンド	0.1%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

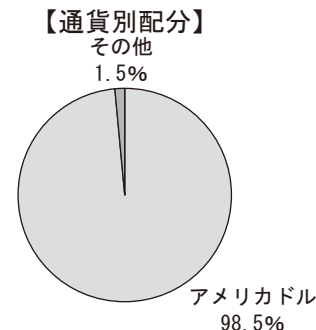
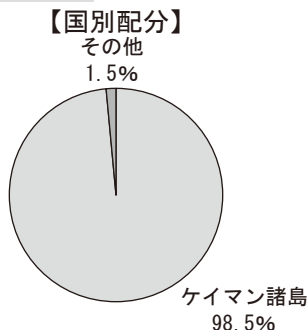
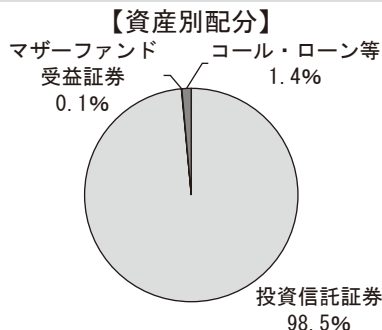
上記 の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

純資産等

項目	第64期末 2018年3月26日	第65期末 2018年4月26日	第66期末 2018年5月28日	第67期末 2018年6月26日	第68期末 2018年7月26日	第69期末 2018年8月27日
純資産総額	151,313,515円	156,888,227円	155,135,538円	154,163,769円	156,803,469円	155,941,091円
受益権口数	118,646,589口	118,879,441口	118,937,973口	119,166,298口	119,320,367口	119,548,650口
1万口当たり基準価額	12,753円	13,197円	13,043円	12,937円	13,141円	13,044円

・当作成期間中（第64期～第69期）において
追加設定元本は 1,373,212円
同解約元本は 244,607円です。

種別構成等



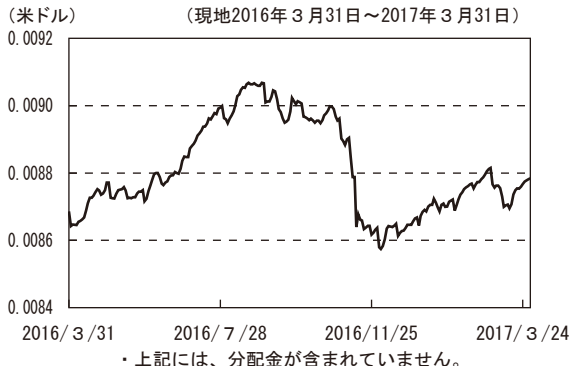
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD)

(現地2017年3月31日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

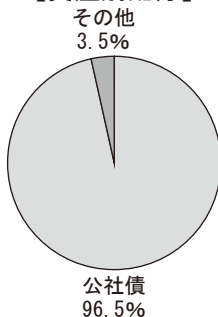
(組入銘柄数：52銘柄)

銘柄	国・地域名	クーポン	償還日	比率
1 ガズプロム	ロシア	6.51%	2022/3/7	2.65%
2 ENNエナジー	中国	6%	2021/5/13	2.64%
3 PCCW	香港	5.75%	2022/4/17	2.63%
4 ズベルバンク	ロシア	6.125%	2022/2/7	2.62%
5 カザフスタン国営貯蓄銀行	カザフスタン	7.25%	2021/1/28	2.60%
6 インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	フィリピン	5.875%	2025/9/17	2.57%
7 ヴィンペルコム	ロシア	5.95%	2023/2/13	2.55%
8 OCP SA	モロッコ	5.625%	2024/4/25	2.55%
9 アルティス	ルクセンブルグ	7.5%	2026/5/15	2.54%
10 ペルサハーン・ガス・ネガラ	インドネシア	5.125%	2024/5/16	2.54%

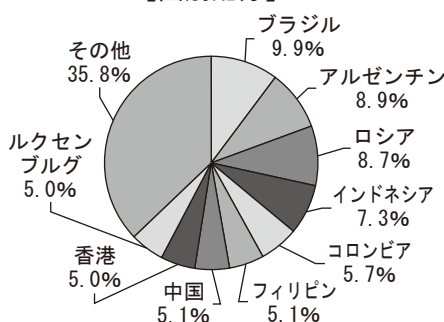
- ・比率は、エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD) の純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等

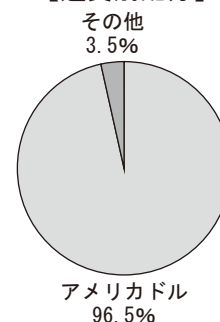
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はエマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD) の純資産総額に対する割合です。
- ・通貨別配分はエマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD) で保有している資産の通貨を表示しております。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド (USD) の資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものであり、運用報告書 (全体版) とは異なる場合があります。

1万口当たりの費用明細

(現地2016年4月1日～2017年3月31日)

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

「参考情報」

費用項目	比率
信託 (管理) 報酬	1.08%
その他	1.31%
費用合計	2.38%

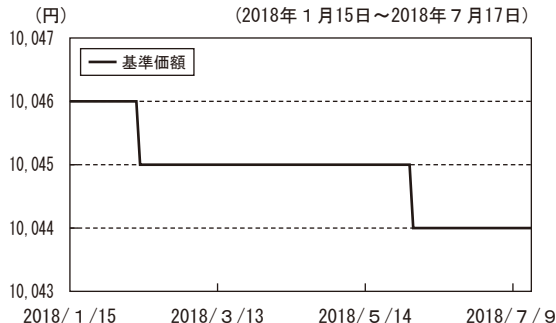
- ・左記は、Financial Statementsに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「信託 (管理) 報酬」と「その他」に分類して表示したものです。
- ・比率は、左記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。
- ・信託 (管理) 報酬は、管理費用の固定費が含まれており、平均純資産総額に対する固定費の割合が高いことから比率が大きく表示されています。

組入上位ファンドの概要

マネー・プール マザーファンド

（2018年7月17日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

（組入銘柄数：1銘柄）

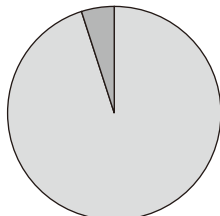
	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	アミカス・ファンディング 180718	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	95.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

【資産別配分】

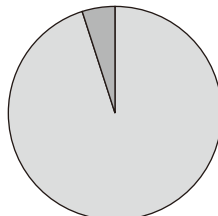
コール・ローン等
5.0%



その他有価証券
95.0%

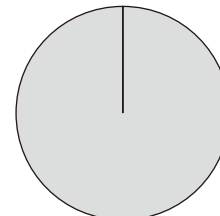
【国別配分】

その他
5.0%



日本
95.0%

【通貨別配分】



円
100.0%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

（2018年1月16日～2018年7月17日）

該当事項はございません。

154024

＜ご参考＞当ファンドに関わる費用について

ファンド名称（当ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	2018年2月27日 ～2018年8月27日	1.17%

ファンド名称（組入上位ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
エマージング・コーポレート・ボンド・ファンド （USD）	2016年4月1日 ～2017年3月31日	2.38%

（注）当ファンドの費用合計（年率）は、当ファンドの「1万口当たりの費用明細」に記載された合計の比率を年率換算したものであり、実際に年間で発生した費用ではありません。

（注）組入上位ファンドの費用合計（年率）は、「組入上位ファンドの概要」の「1万口当たりの費用明細」に掲載されている参考情報にある各費用項目の合計の比率であり、当ファンドの対象期間とは異なる場合があります。また、対象期間が1年超・未満の場合には年率換算して表示しています。

指数に関して

○ファンドの参考指数である『J.P. Morgan CEMBI Broad Diversified（円換算）』について

J.P. Morgan CEMBI Broad Diversified（円換算）は、米ドル建てのJ.P. Morgan CEMBI Broad Diversifiedの基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

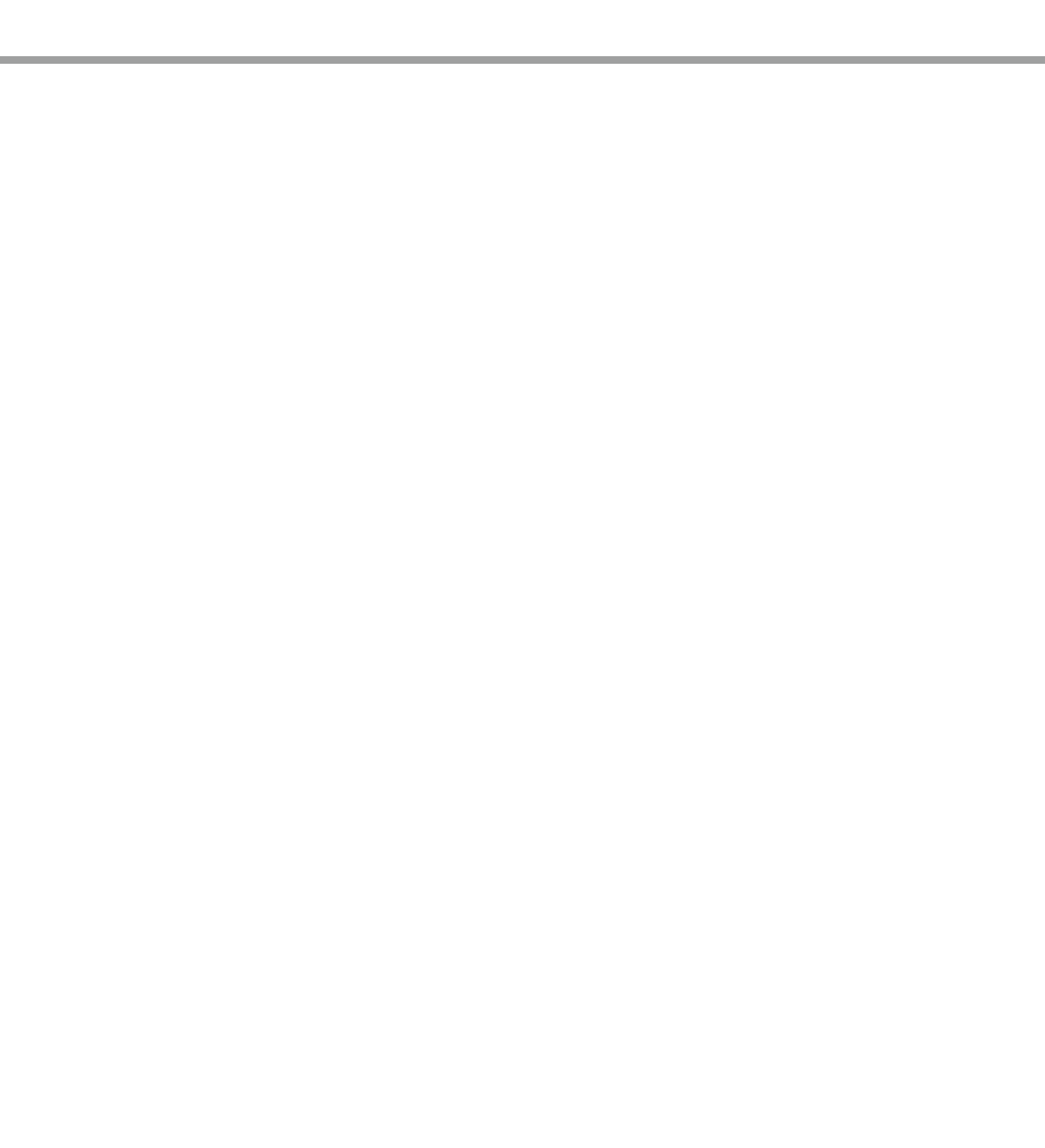
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信